

参 考 資 料

1. 療養病床アンケート調査の特別集計	
(1) 医療区分1の入院患者のうち、本人の医療や介護の必要性を踏まえ、特別 養護老人ホームでの対応が望ましいとされた者に行われた医療処置 (医療療養病床の場合・介護療養病床の場合)	1
(2) 医療機関の転換意向において転換先として選択している施設の種類の状況	3
2. 諸外国におけるGDPに占める高齢者に対する支出割合(2001年)	4
3. 介護老人保健施設及び介護療養型医療施設において1ヶ月間リハビリテーション 等を受けた入所者の割合及び頻度の内訳について	5

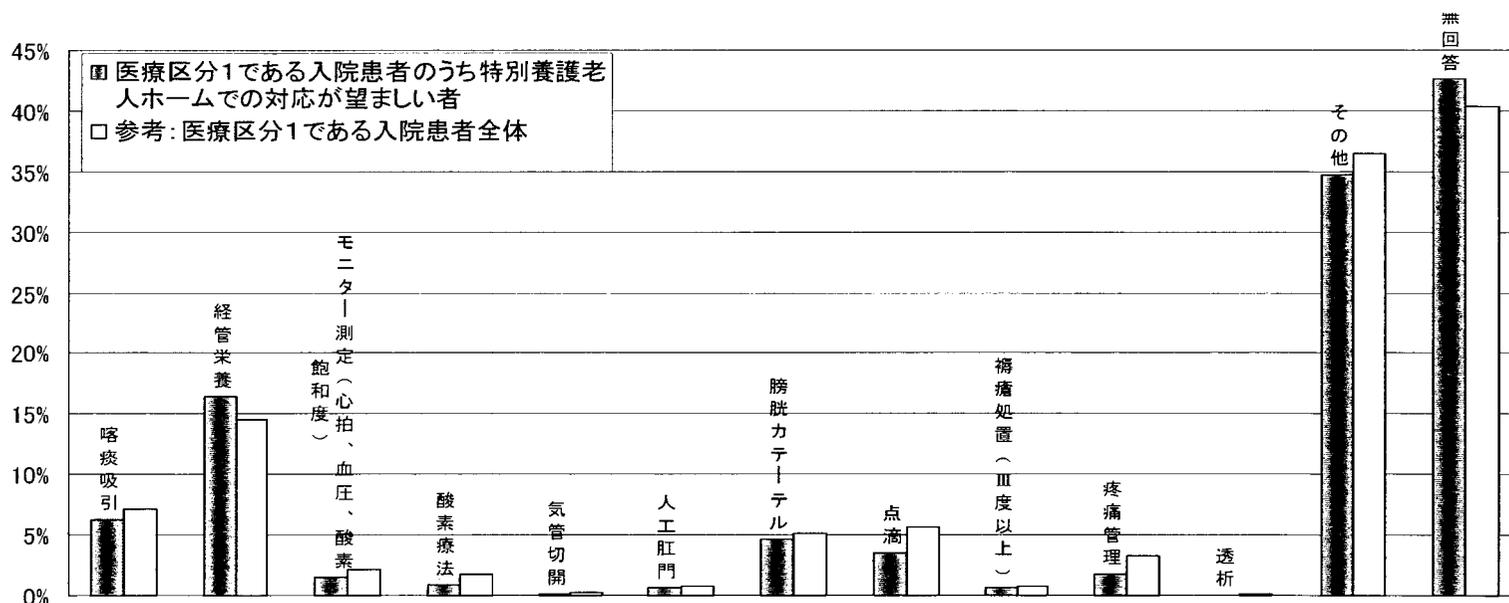
1. 療養病床アンケート調査の特別集計

(1) 医療区分1の入院患者のうち、本人の医療や介護の必要性を踏まえ、特別養護老人ホームでの対応が望ましいとされた者に行われた医療処置

1) 医療療養病床の場合

【5%を超える医療処置】

医療区分1の入院患者のうち特別養護老人ホームでの対応が望ましいとされた者では、喀痰吸引(6.3%)、経管栄養(16.4%)であった。経管栄養については医療区分1の平均よりも特別養護老人ホームでの対応が望ましいとされた者の割合が高い。



医療療養病床

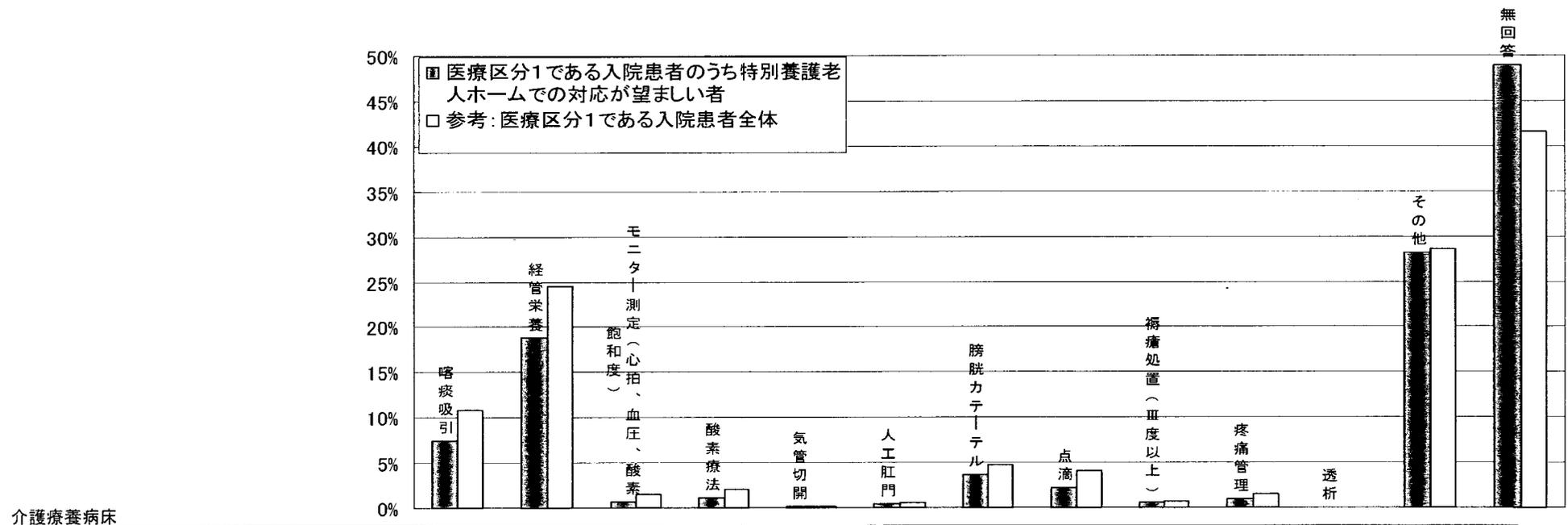
	合計	医療処置												
		喀痰吸引	経管栄養	モニター測定(心拍、血圧、酸素飽和度)	酸素療法	気管切開	人工肛門	膀胱カテーテル	点滴	褥瘡処置(Ⅲ度以上)	疼痛管理	透析	その他	無回答
医療区分1である入院患者のうち特別養護老人ホームでの対応が望ましい者	5,578人 100.0%	350人 6.3%	914人 16.4%	83人 1.5%	48人 0.9%	7人 0.1%	33人 0.6%	256人 4.6%	195人 3.5%	38人 0.7%	96人 1.7%	1人 0.0%	1,940人 34.8%	2,380人 42.7%
参考: 医療区分1である入院患者全体	23,592人 100.0%	1,667人 7.1%	3,447人 14.6%	496人 2.1%	392人 1.7%	57人 0.2%	160人 0.7%	1,219人 5.2%	1,344人 5.7%	189人 0.8%	761人 3.2%	19人 0.1%	8,615人 36.5%	9,503人 40.3%

【出典】「療養病床アンケート調査」(厚生労働省老健局)平成19年3月の特別集計)

2) 介護療養病床の場合

【5%を超える医療処置】

医療区分1の入院患者のうち特別養護老人ホームでの対応が望ましい者では、喀痰吸引(7.5%)、経管栄養(18.8%)であった。



介護療養病床

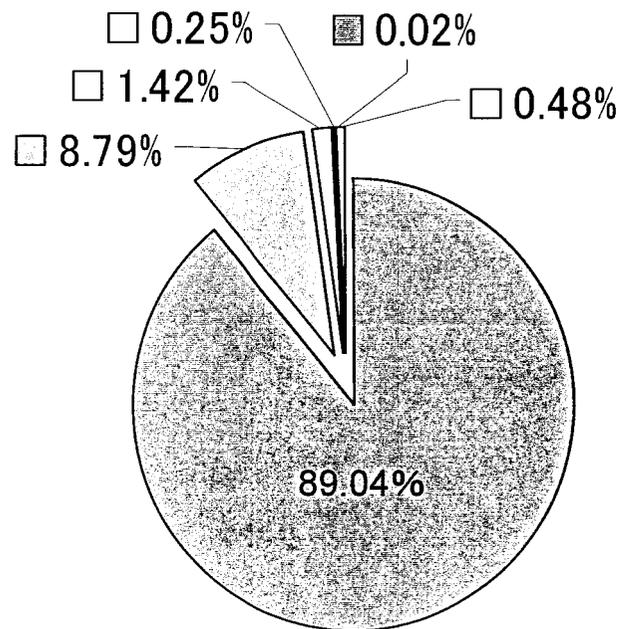
	合計	医療処置												
		喀痰吸引	経管栄養	モニター測定(心拍、血圧、酸素飽和度)	酸素療法	気管切開	人工肛門	膀胱カテーテル	点滴	褥瘡処置(Ⅲ度以上)	疼痛管理	透析	その他	無回答
医療区分1である入院患者のうち特別養護老人ホームでの対応が望ましい者	3,828人 100.0%	286人 7.5%	720人 18.8%	28人 0.7%	43人 1.1%	5人 0.1%	17人 0.4%	141人 3.7%	82人 2.1%	21人 0.5%	37人 1.0%	0人 0.0%	1,077人 28.1%	1,870人 48.9%
参考：医療区分1である入院患者全体	12,030人 100.0%	1,298人 10.8%	2,942人 24.5%	181人 1.5%	237人 2.0%	25人 0.2%	73人 0.6%	582人 4.8%	498人 4.1%	89人 0.7%	186人 1.5%	1人 0.0%	3,442人 28.6%	5,003人 41.6%

【出典】「療養病床アンケート調査」(厚生労働省老健局)平成19年3月の特別集計)

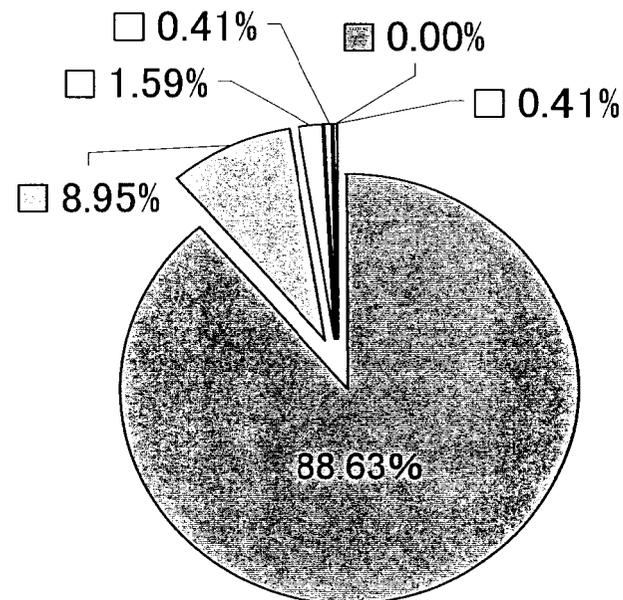
(2) 医療機関の転換意向において転換先として選択している施設の種類の状況

医療機関の転換意向において、医療療養病床・介護療養病床別に転換先施設の種類の数の状況を見ると、いずれも約9割が1種類となっている。

医療療養病床の場合



介護療養病床の場合



- 転換先 1種類
- 転換先 2種類
- 転換先 3種類
- 転換先 4種類
- 転換先 5種類
- 転換先 不明

	転換先					
	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	不明
医療療養病床	4,631施設 89.04%	457施設 8.79%	74施設 1.42%	13施設 0.25%	1施設 0.02%	25施設 0.48%

	転換先					
	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	不明
介護療養病床	2,564施設 88.63%	259施設 8.95%	46施設 1.59%	12施設 0.41%	0施設 0.00%	12施設 0.41%

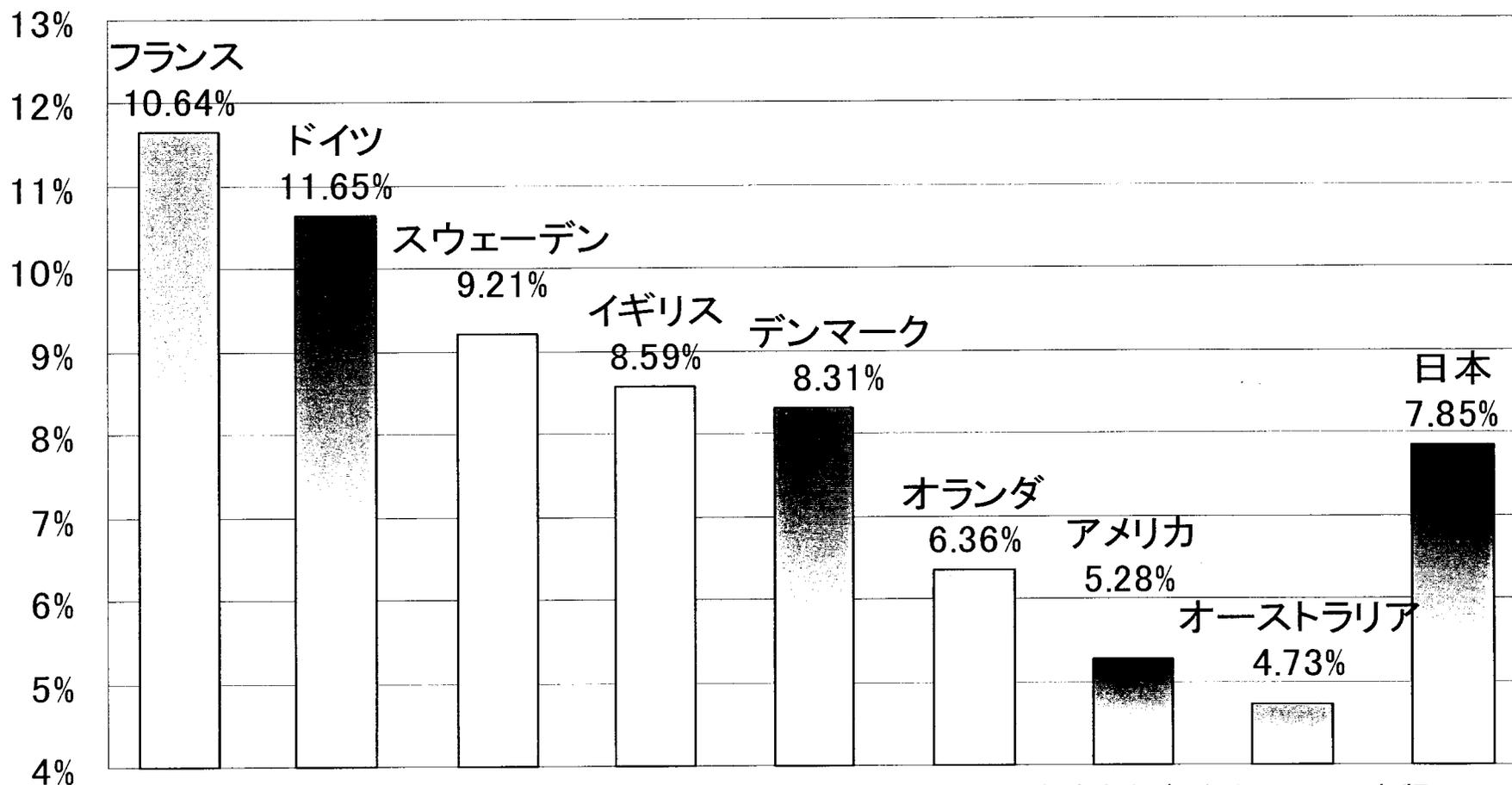
	合計	医療療養病床	一般病床	介護老人 保健施設	未定	その他 施設
医療療養病床	4,631施設	2,540施設	318施設	110施設	1,533施設	130施設
転換先1種類内訳	89.04%	48.84%	6.11%	2.11%	29.48%	2.50%

	合計	医療療養病床	介護療養 病床	介護老人 保健施設	未定	その他 施設
介護療養病床	2,564施設	579施設	325施設	297施設	1,078施設	285施設
転換先1種類内訳	88.63%	20.01%	11.23%	10.27%	37.26%	9.85%

※ 転換先の種類には、廃止、その他、未定を含む。

【出典】「療養病床アンケート調査」(厚生労働省老健局) 平成19年3月の特別集計)

2. 諸外国におけるGDPに占める高齢者に対する支出割合(2001年)

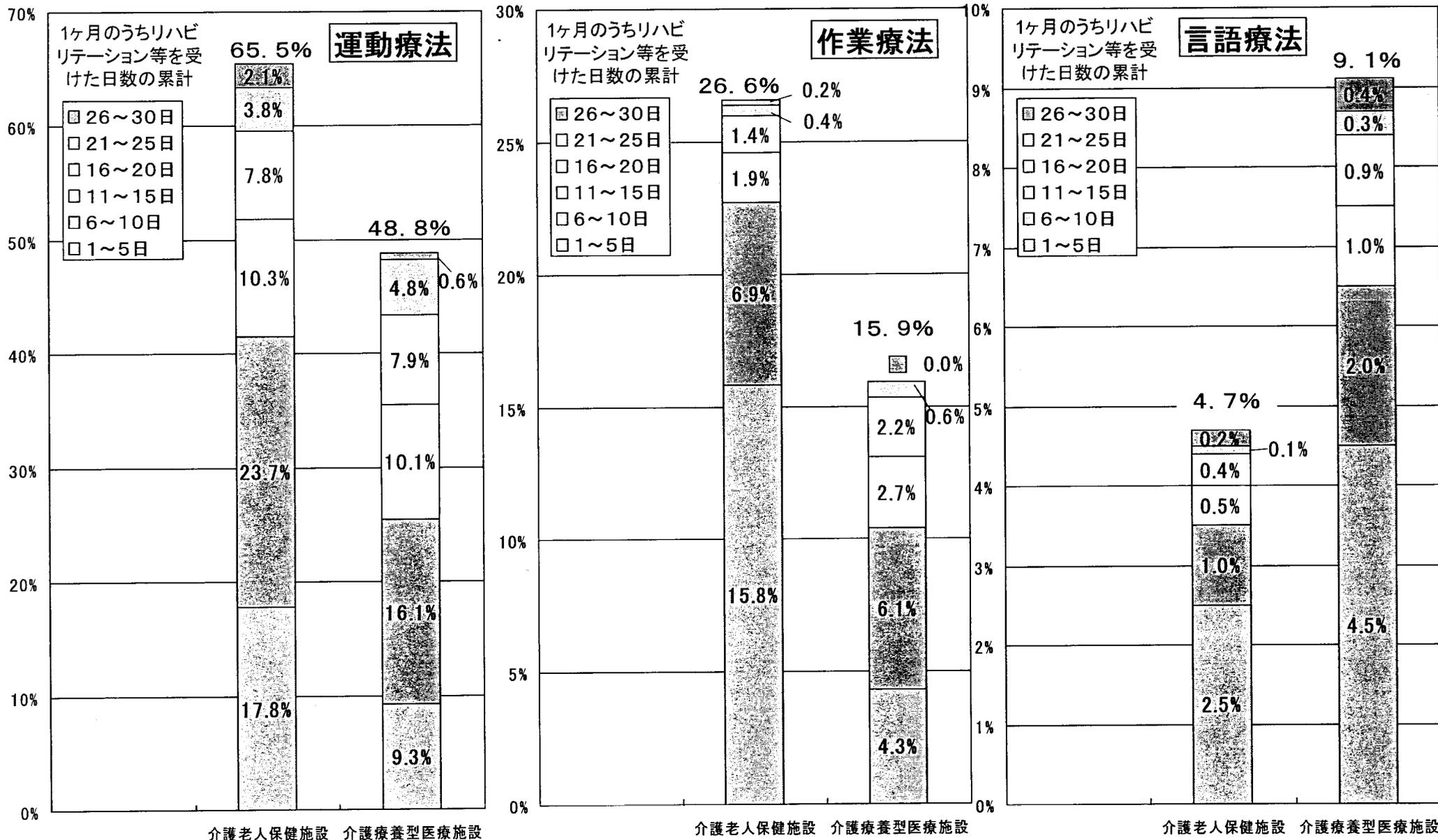


【資料】経済協力開発(OECD)社会支出データベース2004年版

※ 高齢者に対する社会的支出について、OECD社会支出データベースの定義では、退職によって労働市場から引退した人及び決められた年齢に達した人に提供される現金給付を対象としている。給付の形態は年金および一時金を含み、早期退職をした人の給付もここに含めるが、雇用対策として早期退職をした場合は含まない。高齢者を対象とした在宅及び施設の介護サービスを計上する。施設サービスにおいては老人施設の運営に係る費用も計上する。

※ 日本の例: 老齢厚生年金、老齢福祉年金、老齢年金、介護サービス等諸費、在宅福祉事業費、介護扶助、退職共済年金、各種恩給等

3・介護老人保健施設及び介護療養型医療施設において1ヶ月間リハビリテーション等を受けた入所者の割合及び頻度の内訳について



出典:「平成15年介護サービス施設・事業所調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部)